

西表島における管理成果の評価指標（案）

※橙字は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地モニタリング計画」と重複する内容

管理成果の評価項目 (管理目標)	評価指標 (中期：5年毎評価)	評価指標 (短期：毎年評価)	状態の評価基準	推移の評価基準	データ 提供者	第一次 評価者	備考
<b>(1) 保護制度の適切な運用</b>							
保護制度により自然環境に影響を及ぼす行為が防止・抑制されている。	A. 西表島の OUV を表す種（国際的絶滅危惧種）に関する希少種保護法令による指定率		<p>【良好】西表島の OUV を表す種全てが、特別天然記念物、天然記念物、国内希少野生動植物種、沖縄県希少野生動植物保護条例の指定希少野生動植物種、竹富町自然環境保護条例の特別希少野生動植物種のいずれかに指定されている。</p> <p>【注意】西表島の OUV を表す種の中で、上記の希少種保護法令により指定されていない種がある。</p> <p>【懸念】西表島の OUV を表す種の中で、上記の希少種保護法令により指定されていない種が複数ある。</p>	<p>【改善】基準年と比較して、希少種保護法令の指定種の数が増加している。</p> <p>【横ばい】基準年と比較して、希少種保護法令の指定種の数に変化がない。</p> <p>【悪化】基準年と比較して、希少種保護法令の指定種の数が増加している。</p>	環境省 林野庁 沖縄県 竹富町	環境省	
			①西表島の OUV を表す代表的な種の生息状況（イリオモテヤマネコ、カンムリワシ）	【モニタリング計画】の指標（6～7）の評価結果を活用		環境省 林野庁 東海大学	管理機関
<b>(2) 外来種による影響の排除・低減</b>							
侵略的外来種による希少種への脅威が低減している。		②西表島の推薦地・緩衝地帯で発見された外来種の数・地点情報など	【モニタリング計画】の指標（16）の評価結果を活用		環境省 林野庁 沖縄県 竹富町	管理機関	【モニタリング計画の内容】 環境省・林野庁職員による巡視や、市町村、地域住民からの通報によって、外来種の生息・生育状況や侵入状況を把握する。
		③西表島の周辺管理地域における外来種の数・地点情報など	【モニタリング計画】の指標（16）の評価結果を活用		環境省	管理機関	【モニタリング計画の内容】 各推薦地の周辺において、海外や国内からの非意図的侵入が想定される場所において、一地点当たり数 km のルートセンサスを合計約 100～200 地点行い、対応優先度に基づいて作成した外来種リストに記載されている外来種の侵入状況を把握する。
<b>(3) 希少種への人為的影響の防止</b>							
OUV を表す希少種が自然状態で安定的に存続できる状態になる。	B. 遺産価値を表す種のうち、専門家意見に基づいて抽出された主要な種のレッドリストランクの変化)		【モニタリング計画】の指標（8.3）の評価結果を活用		環境省	管理機関	【モニタリング計画の内容】 5年に1度、レッドリストランクの変化を定量的に分析することで、遺産価値を表す種全体について、保全状況の変化を定期的に俯瞰し、必要な対策を講じるための検討材料とする。
		④イリオモテヤマネコの交通事故の発生状況	【モニタリング計画】の指標（11）の評価結果を活用		環境省	管理機関	【モニタリング計画の内容】 巡視やパトロール、市町村・地域住民からの通報等によって発見された死体・傷病個体について、剖検を実施し、交通事故の被害のトレンドを把握する。
		⑤動植物の密猟・密輸に関する情報の収集	【モニタリング計画】の指標（13）の評価結果を活用		環境省	管理機関	【モニタリング計画の内容】 ・巡視やパトロール、関係省庁、市町村・地域住民からの通報等によって得られ

管理成果の評価項目 (管理目標)	評価指標 (中期：5年毎評価)	評価指標 (短期：毎年評価)	状態の評価基準	推移の評価基準	データ 提供者	第一次 評価者	備考	
							た希少動植物の密猟・密輸情報の件数から、被害のトレンドを把握する ・巡視やパトロール、市町村・地域住民からの通報等によって得られた捕獲器等（昆虫採集トラップ等）の数から、捕獲圧のトレンドを把握する。	
(4) 緩衝地帯等における産業との調和								
緩衝地帯等において生物多様性が維持・向上し、産業との軋轢が生じていない。		⑥緩衝地帯等における在来生物の生息環境の維持・向上に寄与する取組の実施状況	※本指標は取組指標であるため「状態の評価」は実施しない。	【改善】緩衝地帯等における在来生物の生息環境の維持・向上に関する取組の実施数が前年よりも増加している。 【横ばい】緩衝地帯等における在来生物の生息環境の維持・向上に関する取組の実施数が前年と同程度である。 【悪化】緩衝地帯等における在来生物の生息環境の維持・向上に関する取組の実施数が前年よりも減少している。	環境省 林野庁 沖縄県 竹富町	沖縄県		
(5) 適切な観光管理の実現								
地域の環境・社会・経済への影響に配慮した持続可能な観光が行われている。	C. 西表島の観光産業従事者（宿泊・運輸・飲食・物販・ガイド）の島内居住人口・居住率		【良好】西表島の観光産業従事者が基準年の〇人を下回らず、かつ観光案内人（ガイド）の9割以上が島内に居住している。 【注意】観光産業従事者が〇人を下回る、若しくは観光案内人（ガイド）の島外居住者が1～2割程度含まれている。 【懸念】観光産業従事者が〇人を下回る、若しくは観光案内人（ガイド）の島外居住者が2割以上を占めている。	【改善】前年と比較して、観光案内人（ガイド）の島内居住率が向上している。 【横ばい】前年と比較して、観光案内人（ガイド）の島内居住率に大きな増減が見られない。 【悪化】前年と比較して、観光案内人（ガイド）の島内居住率が低下している。	竹富町	竹富町	西表島の観光産業従事者の人数と割合は国勢調査の分析から把握。観光案内人については居住実績も把握。評価基準の〇人は基準年の調査データに基づき設定する	
	D. 観光旅行者の世界自然遺産の価値や保全に関する理解度や満足度（アンケート調査等）		【良好】西表島を訪れた観光旅行者の〇割が満足度等（再訪意思等）を高評価とし、かつ、遺産価値を実感した観光旅行者が〇割以上である 【注意】西表島を訪れた観光旅行者の〇割が満足度等を高評価とし、または、遺産価値を実感した観光旅行者が〇割以上である 【懸念】西表島を訪れた観光旅行者の〇割以下が満足度等を高評価（再訪意思や満足度等）とし、かつ、遺産価値を実感した観光旅行者が〇割以下である	【改善】前回調査時と比較し、満足度等の高いまたは遺産価値を実感した観光旅行者の割合が増加している 【横ばい】前回調査時と比較し、満足度等の高いまたは遺産価値を実感した観光旅行者の割合が概ね変化していない 【悪化】前回調査時と比較し、満足度等の高いまたは遺産価値を実感した観光旅行者の割合が減少している	沖縄県	沖縄県	令和3年度は沖縄県が実施予定だが、継続的なデータの取得については検討する必要がある 評価基準の〇割は基準年の調査データに基づき設定する	
	E. 西表島を訪問する観光客の平均宿泊数		【良好】西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」で設定された基準値の1.1倍以上である。 【注意】西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が設定された基準値の0.9倍～1.1倍である。 【懸念】西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が設定された基準値の0.9倍未満である。	【改善】前回調査時と比較し、西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が増加している。 【横ばい】前回調査時と比較し、西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が概ね変化していない。 【悪化】前回調査時と比較し、西表島を訪問する観光客全体の平均宿泊数が減少している。	竹富町	竹富町	倍率について「西表島部会」に諮った上で判断基準の設定を行うことが必要	
		⑦やまねこ基金・ふるさと納税・観光協力金等の収入額、環境保全事業への支出額		【良好】やまねこ基金・ふるさと納税・観光協力金等の目標収入額（〇円/年）が達成され、環境保全事業が予定通り実施されている。 【注意】目標収入額を達成できず、予定していた環境保全事業の実施が滞っている。 【懸念】目標収入額との間に大きな乖離が生じており、予定していた環境保全事業の実施が困難な状態である。	【改善】前年と比較して、やまねこ基金・ふるさと納税・観光協力金等の収入額が増加している。 【横ばい】前年と比較して、収入額の大幅な増減が見られない。 【悪化】前年と比較して、収入額が減少している。	竹富町	竹富町	目標収入額は基準年の収入額に基づき設定するが、達成したい目標が設定された場合にはそれに合わせて目標収入額も変更していく。
		⑧西表島全体における受入容量の目安を踏まえた実際の入域状況		【良好】西表島全体の年間入域観光客数が「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」で設定された基準値以下であり、日別入域観光客	【改善】前年と比較して、西表島全体の入域者数が「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計	沖縄県 竹富町	沖縄県	評価基準の〇日や〇割は基準年のデータに基づき「令和3年度西表島部会」に諮った上で設定を行うことが必要

管理成果の評価項目 (管理目標)	評価指標 (中期：5年毎評価)	評価指標 (短期：毎年評価)	状態の評価基準	推移の評価基準	データ 提供者	第一次 評価者	備考
			数が設定された基準値を超える日数が〇日(〇割)未満である。 【注意】西表島全体の年間入域観光客数が設定された基準値以下であること、日別入域観光客数が設定した受入容量を超える日数が〇日(〇割)未満であること、のどちらかのみを満たしている。 【懸念】西表島全体の年間入域観光客数が設定された基準値を超えており、かつ、日別入域観光客数が設定された基準値を超える日数が〇日(〇割)以上に達している。	画」で設定された基準値を超える日数が減少している。 【横ばい】前年と比較して、西表島全体の入域者数が設定された基準値を超える日数に増減が見られない。 【懸念】前年と比較して、西表島全体の入域者数が設定された基準値を超える日数が増加している。			【モニタリング計画】のデータ(17)と一部重複しているが、来訪者管理基本計画に係る指標であるため西表島部会で評価を行うことを想定
		⑨竹富町観光案内人条例やエコツーリズム推進法に基づくガイド事業者や利用者への罰則適用または行政指導の件数	【良好】竹富町観光案内人条例やエコツーリズム推進法による罰則適用または行政指導に相当する案件は発生していない。 【注意】罰則適用または行政指導に相当する案件が年間2件以下発生した。 【懸念】罰則適用または行政指導に相当する案件が年間3件以上発生した。	【改善】前年と比較して、竹富町観光案内人条例やエコツーリズム推進法による罰則適用または行政指導の件数が減少している。 【横ばい】前年と比較して、罰則適用または行政指導の件数に変化がない。 【悪化】前年と比較して、罰則適用または行政指導の件数が増加している。	竹富町 ガイド事業者 統括組織	竹富町	
		⑩自然体験型観光における事故の発生状況	【良好】西表島における自然体験型観光において、死亡、けが人の救出、捜索活動を伴う事故は発生していない。 【注意】死亡者がでる重大な事故は発生していないが、けが人の救出や捜索活動を伴うような事故が発生している。 【懸念】死亡者がでる重大な事故が発生した。	【改善】前年と比較して、死亡事故、けが人の救出、捜索活動等の事故発生件数が減少している。 【横ばい】前年と比較して、死亡事故、けが人の救出、捜索活動等の事故発生件数に増減が見られない。 【悪化】前年と比較して、死亡事故、けが人の救出、捜索活動等の事故発生件数が増加している。	竹富町 ガイド事業者 統括組織	竹富町	
		⑪主要な自然体験利用フィールド等における定点モニタリング調査の実施	【良好】モニタリング結果を踏まえて、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドが見られない。 【注意】モニタリング結果を踏まえて、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドが〇件以下にとどまっている。 【懸念】モニタリング結果を踏まえて、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドが〇件以上ある。	【改善】前年と比較して、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドの数が減少している。 【横ばい】前年と比較して、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドの数に変化がない。 【悪化】前年と比較して、利用影響により問題が生じていると判断されたフィールドの数が増加している。	環境省 林野庁 沖縄県 竹富町 ガイド事業者 統括組織	竹富町(西 表島エコ ツーリス ム推進協 議会事務 局)	「西表島部会」や「エコツーリズム推進協議会」に諮った上で判断基準の設定を行う。 【モニタリング計画】のデータ(18)と重複しているが、西表島エコツーリズム推進協議会にて具体的な評価が行われるためその結果を活用して西表島部会で評価を実施
(6) 地域社会の参加・協働による保安全管理							
管理機関と地域社会が連携・協力して世界自然遺産の保安全管理を担っている。	F. 地域住民の世界自然遺産の保全に関する理解度(アンケート調査の回収率と遺産価値の保全の重要性の理解、保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合)		【良好】地域住民を対象とした意識調査において、遺産価値の保全の重要性の理解及び保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合が〇割以上を占めている。 【注意】意識調査において、遺産価値の保全の重要性の理解を示す住民もしくは保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合が〇割に達していない。 【懸念】意識調査において、遺産価値の保全の重要性の理解を示す住民もしくは保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合が〇割に達していない。	【改善】基準年と比較して、遺産価値の保全の重要性の理解、保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合が減少しておらず、少なくともいずれかが向上している。 【横ばい】基準年と比較して、遺産価値の保全の重要性の理解、保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合に大きな増減がみられない。 【悪化】基準年と比較して、遺産価値の保全の重要性の理解、保安全管理への興味・関心・参加意向を示す住民の割合のいずれかが減少している。	沖縄県	沖縄県	令和3年度は沖縄県が実施予定だが、継続的なデータの取得については検討する必要がある。 評価基準の〇割は基準年の調査データに基づき設定する
		⑫管理機関、地元関係団体、地元住民が主催する普及啓発・保安全管理活動等の実施件数・延べ参加者数	※本指標は取組指標であるため「状態の評価」は実施しない。	【改善】前年と比較して、普及啓発・保安全管理活動等の実施件数・延べ参加者数が増加している。 【横ばい】前年と比較して、普及啓発・保安全管理活動等の実施件数・延べ参加者数に大きな増減がみられない。 【悪化】前年と比較して、普及啓発・保安全管理活動等の実施件数・延べ参加者数が減少している。	環境省 林野庁 沖縄県 竹富町 地元関係 団体	竹富町	

管理成果の評価項目 (管理目標)	評価指標 (中期：5年毎評価)	評価指標 (短期：毎年評価)	状態の評価基準	推移の評価基準	データ 提供者	第一次 評価者	備考
(7) 適切なモニタリングと情報の活用							
必要な情報の把握と共有がなされ、管理成果の評価が行動計画に反映されている。		⑬事業進捗確認・管理成果の評価のためのデータの公表及び西表部会での検討状況	<p>【良好】西表島における事業進捗確認・管理成果の評価に関するデータの公表が行われ、西表部会において管理成果の評価が実施され、行動計画の見直し・更新が実施されている。</p> <p>【注意】データ及び管理成果の評価結果は公表されていないが、西表部会において行動計画の見直し・更新が実施されている。</p> <p>【懸念】データ及び管理成果の評価結果は公表されおらず、西表部会において行動計画の見直し・更新も実施されていない。</p>	※本指標は実施の有無での判断であるため「推移の評価」は実施しない。	沖縄県	沖縄県	